

学力向上を目指して



この度、令和6年度全国学力・学習状況調査（令和6年4月18日実施 対象：小学6年生、中学3年生）の結果が示されました。これは、学力や学習状況を測る一つの指標ですので、調査結果を真摯に受け止め、課題を共有して、学校や家庭における「子どもの学び」に対する意識を高めなければならないと考えています。

一人一人の子どもの力を最大限に引き出し、学力を身につけさせることが、子どもの自尊感情を高め、将来を切り開く原動力となるという思いに立ち、教育委員会と学校、家庭、地域が、それぞれの立場から連携して子どもたちの学力向上を目指した取組を進めていきます。

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果

1 教科に関する調査

(1) 結果の概要

【小学校】

調査問題	平均正答率		
	西海市	長崎県	全国
国語	66	67	68
算数	57	62	63

【中学校】

調査問題	平均正答率		
	西海市	長崎県	全国
国語	54	56	58
数学	44	49	53

※県、市における平均正答率は、小数点以下を四捨五入した整数表記となっているので、全国の平均正答率においても、四捨五入した整数表記にしています。

(2) 調査結果にみる本市の課題（○…よい傾向 ●…課題）

◇国語

- 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。（小）
- 目的や意図に応じて、集めた情報を整理し伝えたいことを明確にする。（中）
- 文の中における主語と述語の関係を捉えること。（小）
- 自分の考えが伝わるような文章になるように工夫すること。（中）

◇算数・数学

- 除法について、除数と商の関係について理解している。（小）
- 問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすこと。（中）
- 言葉や数を用いて説明すること。（小）
- 判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。（中）



【調査結果のまとめと今後に向けて】

各教科において、「自分の考えの根拠を明確にして考え、書くこと、説明すること」に課題が見られます。今後、西海市内すべての小・中学校が、これまで以上に「書く力をはじめとした表現する力の向上」を目指して取り組んでいく必要があります。

2 質問紙調査

(1) 児童生徒質問紙（一部抜粋）

***・・・全国を3ポイント以上上回る ***・・・全国を3ポイント以上下回る
※3,4,10の質問は、***と***を逆に表記しています。

		小学6年生		中学3年生	
		本市	全国	本市	全国
1	朝食を毎日食べている。	90.6	93.7	93.7	91.2
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	77.8	82.9	89.6	80.7
3	平日、1日当たり2時間以上、テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンのゲームも含む）をしている。	52.8	49.2	47.9	48.9
4	平日、1日当たり2時間以上、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画を視聴している。	28.9	33.8	46.9	55.9
5	平日、学校の授業以外に、1日当たり、1時間以上、パソコンやタブレットを勉強のために使っている。	22.8	19.8	15.0	16.6
6	携帯電話・スマートフォンやパソコンの使い方について、家の人と約束したことを守っている。	62.8	71.1	64.1	72.2
7	平日、学校の授業以外に、1日当たり、1時間以上勉強している。（中学生は2時間以上）	38.4	54.6	18.3	31.7
8	休日、1日当たり、2時間以上勉強している。（中学生は3時間以上）	12.8	21.5	6.8	15.5
9	放課後や週末に学習塾など学校や家以外の場所で勉強して過ごすことが多い。	10.0	24.4	16.7	38.5
10	放課後や週末に家でテレビを見たり、ゲームをしたり、SNSを利用して過ごすことが多い。	76.1	79.1	91.7	88.6

(2) 調査結果にみる本市の児童生徒の傾向と課題（○…よい傾向 ●…課題）

- 9割程度の児童生徒が「朝食を毎日食べている、だいたい毎日食べている」と回答しており、家庭の協力を得て、基本的な生活習慣が身につけていることが分かる。
- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と回答した生徒の割合が全国平均を上回っている。
- 「平日や休日に十分な時間の家庭学習に取り組んでいる」児童生徒の割合が、全国平均を大きく下回っている。
- 携帯電話・スマートフォンやパソコンの使い方について、「家の人と約束したことを守っている」と回答した児童生徒の割合が6割程度しかいない。
- 放課後や週末の多くの時間をテレビゲームやSNS、動画の視聴に費やしている児童生徒の割合が高い。

【調査結果のまとめと今後に向けて】

各学校における授業改善の取組とともに、家庭学習の質や量を改善していくことが西海市の課題です。また、テレビゲームやSNS、動画視聴等の時間についても、各家庭でルールを決めるなどして、学習時間の確保に向けた取組をする必要があります。

家庭の取組

◇全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙調査の結果から、次のような「めざす具体的な姿」について、御家庭で話し合ってみましょう。そして、現在の自分の姿と照らし合わせて5段階で自己評価をするとともに、それに対して励ましの声をかけてみるなど、御家庭で活用してください。

【自己評価日：令和6年 月 日】



	めざす具体的な姿	自己評価
1	毎日、（ ）時（ ）分までに起きる。	
2	毎日、朝食は、（ ）時（ ）分に食べる。	
3	毎日、（ ）時（ ）分までに寝る。	
4	平日（月曜から金曜）、学校以外で（ ）分ぐらい学習する。	
5	休日（土曜と日曜）、（ ）分ぐらい学習する。	
6	テレビゲームやSNS、動画の視聴などは、1日（ ）分までにする。	
7	家の人と決めた約束は守る。	

★自己評価

5：よくできている 4：だいたいできている 3：ときどきできている
2：あまりできていない 1：全くできていない

保護者からのコメント

学校の取組

◇学校では、全国学力・学習状況調査の結果を受け、次のような授業に努めます。また、学校の課題に応じた学力向上アクションプランを作成し、課題の改善に努めます。

- 授業のはじめに学習のめあてを設定し、授業の終わりに「できるようになったこと」と「まだ、できるようになっていないこと」を確認し、まとめる。
- 授業内容を振り返ることができるような、子どもに分かりやすく効果的な板書を行う。
- 子どもから複数の意見が出るような問いを発し、その共通点と相違点を明らかにしながら、より良い意見となるよう考えさせる。
- 「なぜそうなるか？」について考えさせ、子どもに言葉で説明させる場面を設定する。
- 「総合的な学習の時間」において児童生徒自身が自分なりの課題を設定でき、課題を解決するために調べ、追究できるような学習の流れにする。
- 同じ地区の小学校と中学校が連携し、家庭学習の質や量の充実を図る。
- 1人1台端末（クロームブック）を授業や家庭学習で活用する。

西海市の取組

◇西海市教育委員会では、平成30年度から取り組んでいる「西海市 AI(あい)プラン」に加え、令和元年度には「学びの土台づくり推進事業」を立ち上げ、西海市小・中学校校長会と協力しながら、子どもたちの力を伸ばし、自信をつけさせるため、以下のような取組を推進しています。

【西海市 AI(あい)プラン】

- ・「分かる授業」、「魅力ある授業」、「達成感のある授業」づくりの基盤となる教員の授業力を高めるために、学力向上スーパーバイザーを定期的に学校へ派遣し、指導助言等を行う。
- ・市が費用を負担し、中学2～3年生を対象に英語検定を年間1回受検する。
- ・西海市教育委員会が作成した「授業実践の視点 Ver2」や「学力向上のためにすぐに取り組める授業改善対策」を全教職員に示し、それに基づいて具体的な授業を展開するよう指導する。
- ・中学校区ごとに、教員による「小中連携検討チーム」をつくり、定期的に、中学校区ごとに「小中連携検討会」を開く。共通実践事項の検討等を行うことにより、小・中学校が連携した授業改善や家庭学習の充実が図られるようにする。

【学びの土台づくり推進事業】

- ・「互いに認め合い、高め合う学びの実現」「書く力をはじめとした表現する力の向上」という、全ての教科の学習に通じる力の育成のための学級づくりや授業改善につながる講演会や授業研究会を実施する。